

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 愛知県立刈谷高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 448-8504
愛知県刈谷市寿町5丁目101番地

E-mail : kariya-ssh-esd@kariya-h.aichi-c.ed.jp

Website : http://www.kariya-h.aichi-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 619名 女子 464名 合計 1,083名
 児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

<講演会の実施>

- ・ ESD講演会(4月) 講演者: EPO中部フワロユーザー 対象: 1学年全員
内容: ESDとは、ESDの必要性、刈高生に期待すること等
- ・ フェアトレード講演会(7月) 講演者: (株) HASUNA 代表取締役
対象: 1・2学年全員 内容: フェアトレードの考え方、世界の現状と問題点、フェアトレードジュエリーブランドを設立した会社理念等
- ・ 人権講話(12月) 講演者: 人権擁護委員 対象: 全学年
内容: 人権に対する意識や考え方、ESDの観点から人権の捉え方等
- ・ ESD研究者講演(2月) 講演者: 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授
対象: 2学年全員 内容: エネルギーの変遷、再生可能な資源を循環させる生態系の中で生きる社会の研究紹介等

<研究機関・企業訪問>

- ・ 核融合科学研究所訪問(7月) 対象: 希望者 内容: エネルギーの歴史と現状、核融合発電の原理と将来についての講義・施設見学・実習
- ・ 豊川バイオマスパーク訪問研修(7) 対象: 希望者 内容: 下水汚泥及び生ゴミなどを原料にしたエネルギーと資源の循環システムの見学
- ・ (株)デンソー企業訪問(1月) 対象: 1学年全員 内容: デンソーの環境対策や資源の再利用システムについての講義と施設見学

<発表>

- ・ 文化祭発表(9月) 1,300人の外部来校者がある文化祭で、地域の防災・歴史・文化やフェアトレード等について調査した内容のクラス発表を1学年で実施した。歴史の発表には、刈谷市のマスコットキャラクターも登壇し会を盛り上げた。また、刈谷市役所危機管理課等と協力した防災学習を実施した。
- ・ エコアクションプランの発表(10月~1月) 2学年のESDの時間にグループで研究しエコアクションプランを作成し、クラス・学年で発表を実施した。

<探究活動>

- ・ トウモロコシから広がる探究活動(9月~11月) 1学年全体でトウモロコシについて、生物学・物理学・数学・社会科学等様々な角度から考えることで、物事を多面的にとらえることの重要性を学んだ。
- ・ 世界の諸問題を知る(5月~6月) 2・3学年で世界の環境問題やエネルギー問題等をワークショップ形式で討議した。

<外部との連携>

- ・ ESD子どもフォーラム(8月~12月) 県下の小・中・高校生が集まり、環境や防災について学び、学んだことをグループで協議し発表した。また、刈谷高校のESDの取組をポスター発表した。
- ・ 高校生愛知ESDコンソーシアム(12月) 県下の高等学校ユネスコスクールをはじめESDに取り組む高校が集まり、会の運営や各校の取り組みを発表し、ワークショップ等を実施した。

<その他>

- ・ 世界一大きな授業(5月) 全学年、「世界一大きな授業」に参加した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()